



上尾市立大石小学校

アッピースタートカリキュラム for 2 weeks

第1週目

学校生活で必要なきまりや約束を少しずつ覚えながら、大石小学校の生活に慣れ、楽しく過ごす。

	1日目(4月8日)水	2日目(4月9日)木	3日目(4月10日)金	4日目(4月13日)月	5日目(4月14日)火
学校行事	入学式		お話朝会	避難訓練	身体計測
業前		ランドセルの片付け方	お話朝会	片付け、学習の準備	片付け、学習の準備
1		こくご せいかつ 挨拶、返事の仕方 [2]	こくご 鉛筆の持ち方、使い方 道具箱の使い方 [4][8]	こくご 鉛筆の持ち方 書く時の姿勢 はじめて書く名前 [8]	がっこうぎょうじ 身体計測 [1]
2	がっこうぎょうじ 入学式	がっきゅうかつどう 下校班の確かめ [5]	たいいく 着替えの仕方 並び方 [2]	おんがく 校歌 1年生になったら [10]	こくご あさ [6][8][9]
3	がっきゅうかつどう 挨拶 先生の名前などを知る。	せいかつ 安全な下校の仕方 並び方(名前の順) [5]	せいかつ 校庭めぐり 春の様子を見て回る。 [7]	がっこうぎょうじ 避難訓練 [1]	ずこう 自己紹介カード 自分の顔をクレパスでかく。 [10]

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連 (□は重点事項)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| [1] 健康な心と体 | [8] 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 |
| [2] 自立心 | [9] 言葉による伝え合い |
| 3 協同性 | 10 豊かな感性と表現 |
| [4] 道徳性・規範意識の芽生え | |
| [5] 社会生活との関わり | |
| [6] 思考力の芽生え | |
| [7] 自然との関わり・生命尊重 | |

幼稚園教育要領より抜粋

これらは、到達すべき目標ではありませんが、活動全体を通して育まれる資質・能力の具体的な姿とされています。

家庭との連携

入学式後の学級指導で、学級での約束を伝えるとともに、児童や学校生活について心配なことを家庭から聞きます。学年だよりなどで一週間の予定を示し、毎日の提出物や持ち物など、事前に分かるようにします。

第2週目

学校の施設や様子が少しずつ分かり、他の学年の児童との関わりをもちながら、学校生活を楽しく過ごす。

	6日目(4月15日)水	7日目(4月16日)木	8日目(4月17日)金	9日目(4月20日)月	10日目(4月21日)火
学校行事	練習給食	懇談会(1年)	給食開始(1年)	通学班指導・一斉下校	特別日課 1年生を迎える会
業前	げんき	フッ化物洗口	A a C (ずこう)	朝読書	1年生を迎える会
1	こくご	こくご	こくご	こくご	こくご
	あさ 6 8 9	なんていおうかな ひらがな文字学習 8 9	なんていおうかな ひらがな文字学習 8 9	どうぞよろしく ひらがな文字学習 8 9	どうぞよろしく ひらがな文字学習 8 9
2	せいかつ	どうとく	たいいく	おんがく	たいいく
	校舎めぐり 5	あかるいあいさつ 4 8	遊具遊び 並び方(背の順) 1	1年生になったら 迎える会の練習 10	遊具遊び 1
3	がっきゅうかつどう	さんすう	さんすう	さんすう	さんすう
	練習給食 給食着の着方 配膳の仕方 1 2 3	なかまづくりとかず 6 8	なかまづくりとかず 6 8	なかまづくりとかず 数字の練習 6 8	なかまづくりとかず 数字の練習 6 8
4			がっきゅうかつどう	こくご	こくご
			給食の準備 1 2 3	どんなおはなしかな 読み聞かせ 9	日直カードを書こう 読み聞かせ 8 9
5			こくご	がっこうぎょうじ	ずこう
			どんなおはなしかな 読み聞かせ 9	通学班指導 一斉下校	すきなもののいっぱい 10

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連 (□は重点事項)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1 □ 健康な心と体 | 6 □ 思考力の芽生え |
| 2 □ 自立心 | 7 自然との関わり・生命尊重 |
| 3 □ 協同性 | 8 □ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 |
| 4 □ 道徳性・規範意識の芽生え | 9 □ 言葉による伝え合い |
| 5 □ 社会生活との関わり | 10 □ 豊かな感性と表現 |



家庭との連携

懇談会が設けられているので、学校での子供たちの様子を伝え、児童や学校生活について心配なことを家庭から聞きます。

「おたよりカード」で、家庭から不安なことや連絡したいことをその都度聞いたり、学校で気になる児童の様子を家庭に伝えたりと、連携を図りながら、児童のよりよい学校生活について考えていきます。